

急募！！

兵庫民医連 医学生 震災支援ボランティア

2013年7月5日（金）～6日（土）

- ◆場所：宮城県山元町 他
- ◆内容：仮設住宅での健康チェック・各種撤去作業

* 支援内容は変更になる場合があります。

- ◆持ち物：雨具・タオル・着替え・健康保険証・現金
- ◆費用：自己負担は、3,000円
 - * 別途ボランティア保険の加入費用（2012年度は300円）
 - * 加入済みの方は不要です。

タイムスケジュール（予定）

◆1日目

- 18：45 伊丹空港集合
- 19：35 伊丹空港出発
- 21：00 仙台空港到着
- 22：00 宮城県柴田町に到着

◆2日目

- 9：00 活動開始
- 15：00 支援終了
- 17：35 仙台空港出発
- 18：55 伊丹空港到着

兵庫民医連の震災支援ボランティアには、地元の神戸大学・兵庫医科大学だけでなく全国から多数の医学生が参加しています。これまで側溝の泥かき・家屋の解体作業・仮設住宅での健康相談を行ってきました。

また、沿岸部の学校では津波被害により授業が中断しました。そこで、昨年末から中学生への勉強支援にも取り組んでいます。

* ボランティア報告はホームページでご覧になれます。 で検索！
医学生のみなさん、是非参加してください！ ご協力をお願いします。

☆お申込みはこちらまで☆

兵庫民医連・医学生ボランティア係 〒650-0047 神戸市中央区港島南町 5-3-7

URL：<http://www.hyogo-min.com/> TEL 078-303-7351

E-mail：igakusei@hyogo-min.com

で検索！



◆件名に「震災支援ボランティア参加希望」と入力、本文に「名前・学校名・学年・年齢・性別・住所・電話番号」をまれなく入力下さい。定員は「5名」です。

◆お申し込み期限は、6月26日（水）です。

定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。

これまでに多くの医学生のみなさんがボランティアに参加してくれています。ありがとうございます。
参加したみなさんの感想を少し紹介します。



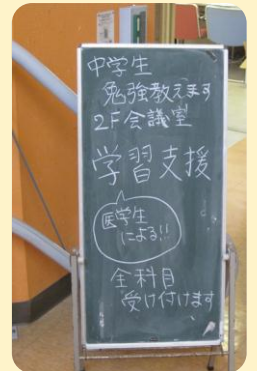
Aさん 兵庫医科大学3年生



色々な職業の方が参加されていることに驚きました。日常の楽しみをつくることもボランティアの役割だと感じました。ボランティアを通して感じたことを私の周りに伝えることで少しでも多くの方が東北に関心を持ち続けてくれると嬉しいと思いました。

Bさん 大阪医科大学5年生

被災された中学生・高校生がやる気をなくし、十分な教育を受けれていない状況を知り、かなり気になった。
自分の進路の選択を増やすことが勉強だと思う。
思春期の中学生や高校生は、こころの変化が激しいと思うので、学習支援や心のケアが必要だと感じました。



Cさん 神戸大学1年生



仮設住宅という環境において、十分な勉強ができない子供たちに対して、どのような支援ができるかを考えていくのが自分にとっても、地域にとっても、課題なのだということがわかりました。



Dさん 兵庫医科3年生

被災地の様子を一年ぶりに直接見て、復興は進んでいないと思った。仮設住宅に住まっていたが、自分の畑を無くしてしまった方の話を聞いて、誰かが被災地に行く、話を聞くということが大切だと感じた。
関西と東北では震災に対する関心が全然違うので、自分もまわりに現地の様子を伝えるなど、何かしらの支援をしていきたいと思った。



まだまだ被災地では、様々な支援が求められています。ぜひみなさんも参加しませんか？
ご協力よろしくお願いします。